

岩見沢市 × 北海道大学のフリーマガジン

ライブ
live

Iwamizawa × Hokkaido University

Vol.10

男性の人生と子育て。



特集・座談会

人生プランと子育てについて

.....

日本で一番笑顔あふれる街へ

男性の生き方から子育てを考える。

Think about raising children from the way men live.

03-04 TalkTalkTalk

人生プランと子育てについて

05-12 男性の生き方と子育て

06-08 それぞれの選択と悩み

09-10 先輩パパの実体験とアドバイス

11-12 企業の先輩と先輩ママのお話

13 日本で一番笑顔あふれる街へ

14 Free Talk のコーナー





Choose!



今月の対談メンバー

岩見沢在住 & 勤務。20代の男性の皆さんと先輩パパに集まっていただきました。



Hさん



Mさん



Iさん

先輩
パパ

Aさん

——— 今回も、皆さんに人生プランを具体的にイメージして書いていただきました。その中で思った事や悩んだ事を聞いてみました。

— Hさんの人生プランは？

👉 23歳で結婚して、26歳で妊娠と同時に妻に育児休暇を取ってもらい、自分は働きながら、お互い協力して子育てをしたいです。あと、妻の機嫌を損ねないようにしたいです。

— まだ18歳なのに、具体的ですね！人生プランを書いてみてどうでした？

👉 女性は、先が見えているので書けると思いますが、男性は出産が絡んでくると見えてこないのかなと思います。なかなかベンが進まなかったです。

— Mさんは、どうでしたか？

👉 30歳頃に結婚したいです。1年ほどおいて31歳で妊娠して妻に育児休暇を取ってもらい出産。自分は、その間に子育てについて勉強したいです。32歳で仕事に復帰してもらい、育児・家事を協力していきたいです。53歳で子どもが自立して、自分は65歳で退職したいです。

— みなさん共働き希望なんですね？

👉 奥さんのワークスタイルにひっぱられて、どうするか迷いました。どちらにしても育児は手伝うつもりですが、専業主婦や共働きによって、手伝う割合が変わるのかなと。

— Iさんは、どうでしょうか？

👉 私は、25歳で結婚しました。子どもが今年の8月に産まれます。妻は事務職でしたが妊娠してから辞めました。妻の親が専業主婦だったこともあり、専業主婦を希望していたので、しばらくはそうしようかと。あと、子ども産まれるので、今年家を建てたいなと

思っています。私が長男で、地元が地方なので、そのうち親をこちらに連れてこようと思い、その部屋も作っています。子どもできれば2.3人欲しいです。42歳くらいで、子どもが小学校高学年になったら、妻にはパートで働いて欲しいなと。54歳で、第二子が大学卒業し、60歳くらいで初孫が欲しいです。65歳くらいで退職。それ以降は孫に貢ぎたいのと、パークゴルフ等の運動をしたいです。MさんやHさんより、ある程度固まっていたので、描きやすかったですね。

— Mさんはなぜ30歳で結婚したいんですか？

👉 まだまだ、結婚を意識できていないのと、経済的にも不安なので28歳くらいまでふらふらしてですかね。20代前半でちゃんとしている感じがしないので。Hさんは、23歳で結婚でしたが、私は23歳でちゃんとしているイメージがついていないので、30歳が一区切りかなと。

— そうですね、6ページにもある通り男性の初婚平均年齢が30.7歳なので、そう考える男性が多いですね。

👉 それこそ、妻のプランに任せることになるかもしれませんが、女性の方が出産や仕事復帰など不安があるから、男性より女性に合わせて変化していくしかないのかなと。

👉 正解がないですよ。二人でこうしたいって決めて上手くいくことがベストですよ。みなさん子どもは欲しい？

👉 一人、二人くらいは欲しいですね。二人目のタイミングがまだイメージできません。

👉 自分は、具体的に結婚相手として想像している人がいたんですが、その相手がこのくらいの時期に結婚して出産したいと話していたので、その意見に引っ張られつつ書きました。

👉 それでも、20代後半までは結婚しないの？

👉 20代いっぱい、仕事したいと相手が言っていて、僕も20代の頃は将来が何も見えてないので賛成なんです。20代で子ども作るよりは30歳前で結婚して1年くらい夫婦の時間を楽しんでから出産したいという話を延々と聞かされています。笑 本人も共働きをしたいと思いますと言っていました。

👉 なんだかんだ、女性にリードしてもらった方が上手くいくんだなって気がしました。

👉 結婚して良かったですか？

👉 自分は良かったです。家事はやっていましたが、奥さんのご飯がうまいですね。

👉 Aさんは？

👉 良かったですよ。子どもも欲しかったし、自分が一人っ子だったので、子どもができるイメージがなかったんです。お腹が大きくなって「蹴ってる」って言って触っても実感がわかなくて。でも、産まれて抱っこした瞬間に父性がマックスにあがりました。「こいつが俺の子か！」と。自分の子ども以外の子どもも好きになりましたね。

— Iさんも楽しみですね。

👉 はい。お腹蹴っているのを触っても生命の息吹が感じられる！ってなりました。

👉 皆さんにとって、子どもや子育てのウエイトはどのくらいですか？仕事を含めて。私たちの世代は、仕事が95%くらいだと思ってましたね。

👉 仕事はやらないといけない事で、家庭はやりたい事だと思っています。なので、50%50%なんですかね。でも、意味合いが違うというか。

👉 まだ、具体的ではないのですが。子どもが元々好きなので、自分の子どもができた時どのくらいになるのかわかりません。ビジネスもプライベートも充実したいと思うので。

👉 僕は、家庭が70%くらいかなと。自分が小さい頃、父は仕事が95%の人で、子育てを全然してくれなかったって母が言っていたので。父も今は70% 家庭の人なんですが、女性は根に持つので。笑 子育ての時に不安がたくさん出てくると思うので、そういうのも見るのが父親の役目なのかな。子どもにとっても愛される父でたいです。

20代の男性に人生プランと子育てについて語っていただきました。女性の生き方や働き方を尊重しながら、人生プランを立てていこうとしていました。共働きが増えていく中で、男性も女性も柔軟に考え、それぞれの夫婦やパートナーに合ったプランを立てていくことが大切ですね。
貴重なお話ありがとうございました。

男性の生き方と子育て。

06-08 それぞれの選択と悩み。

09-10 先輩パパの実体験とアドバイス。

11-12 企業の先輩・先輩ママのお話。

「子育て」と「働く」ことを男性はどこまで繋げて考えているのでしょうか。プレパパの人生プランを見ながら、先輩パパに人生プランと子育てが影響してくる事は何か教えてもらいましょう。男性と女性の考え方の違いにも注目です。

結婚前・子どもがいない男性

プレパパが描く理想の人生プラン。

プレパパ（結婚前・子どもがいない男性）に思い描く人生プランを書いてもらいました。自分がどう生きたいのか、どう子育てをしたいのか、どう働いていきたいのか書いてもらい、将来ぶつかりそうな壁は何か考えてもらいました。

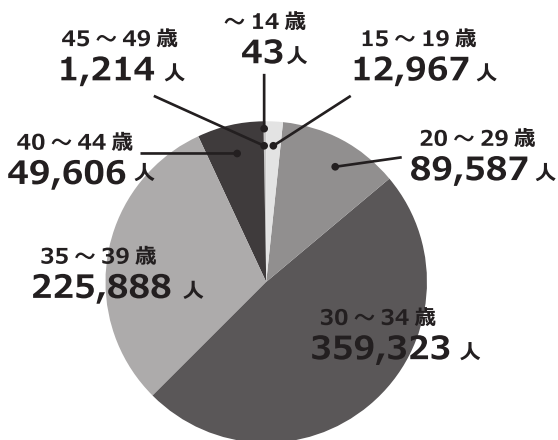
下図は、北海道の婚姻平均年齢と全国の初産年齢です。婚姻時期が30歳前後であり、それに伴い初産年齢も30～34歳が一番大きい割合を占めています。男性の人生プランとパートナーの初産年齢は重要なポイントです。

平成26年 北海道婚姻平均年齢

夫 30.7歳
妻 29.2歳

出所：厚生労働省
「平成26年 人口動態統計月報年計（概数）の概況」

平成26年 全国初産年齢



出所：厚生労働省
「平成26年 人口動態統計月報年計（概数）の概況」



Mさん

39歳、既婚の男性。プロジェクトマネージャーの仕事をしている。将来は、独立して起業したいと思っている。

剛さんの人生プラン



前号登場！

Mさんの



夫 Sさん

33歳、既婚の男性。大学で研究の仕事をしている。子どもは40歳までに1人欲しい。将来は、社会問題を解決できる大きなテーマに取り組みたいと思っている。

Sさんの人生プラン



前号登場！

Cさんの



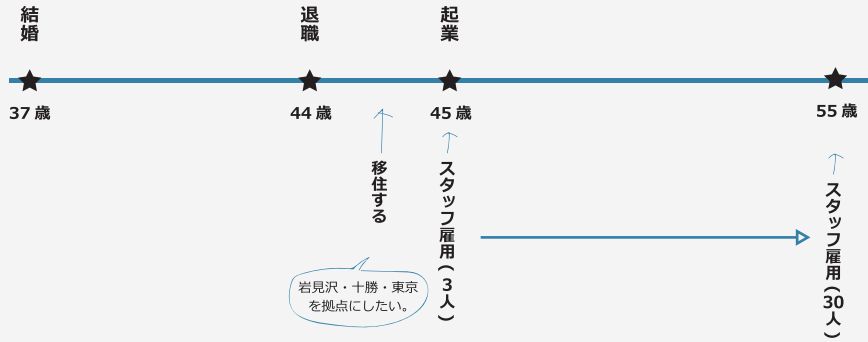
パートナー Eさん

30歳、独身の男性。美容師をしている。35歳までに子どもが3人欲しい。将来は、自分のお店を開業したいと思っている。

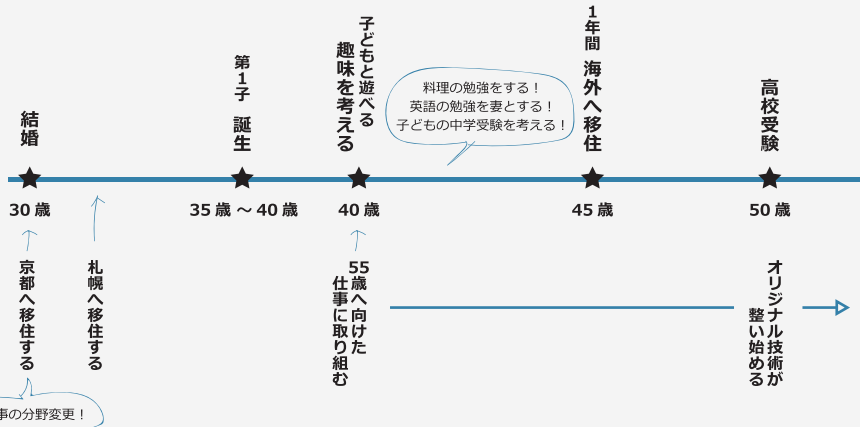
匡さんの人生プラン



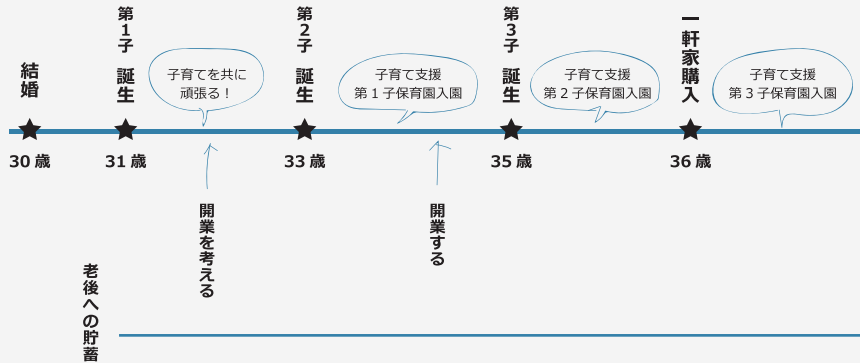
Mさんの人生プラン

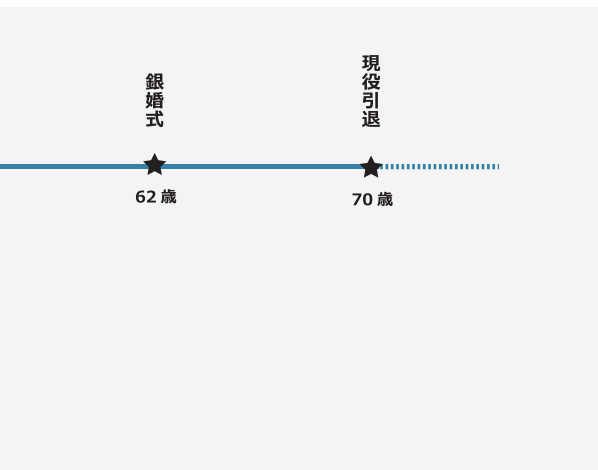


Sさんの人生プラン



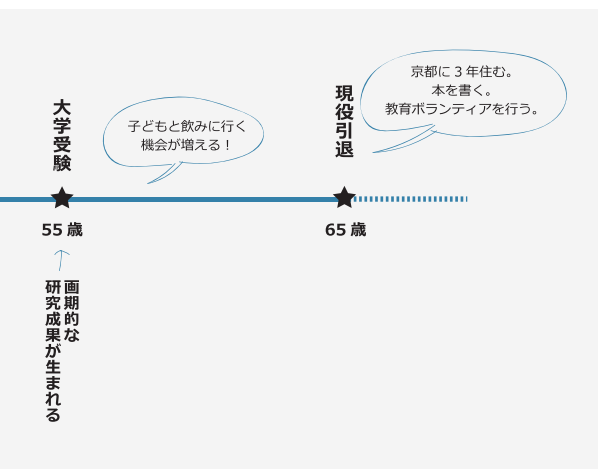
Eさんの人生プラン





正直、人生プランが見えてきませんでした。仕事としては、将来独立して起業したいと思えますが、それ以外のプランを立てるのが難しかったです。子どもを授かるにも色々大変なので。。

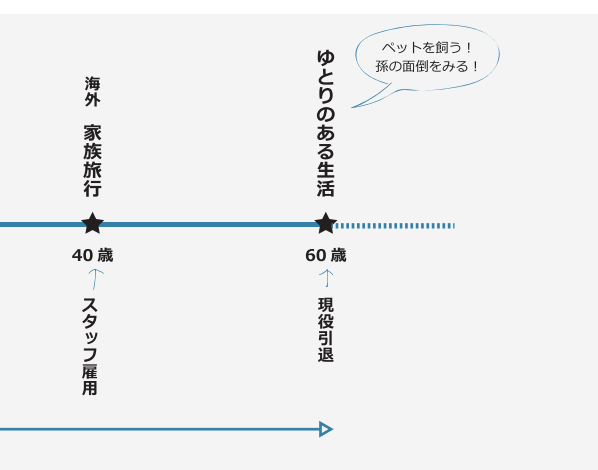
趣味もないので、現役引退後も何をするのか想像が付きませんでした。人生プランを書くことで、もう少し考えるべきなのかと反省しました。



計画通りには進まないと思っていても、ライフプランを書く事で、未来のために現在すべきことの大切さを再確認しました。

ライフプラン=仕事となりがちですが、ライフイベントも併せて考えてみると、ワークライフバランスが悪い事にも気づきました。

目標を実現する事は素晴らしいですが、如何に人生を楽しみ、自分らしく生きる、というのが目標達成の活力になるのではと思いました。



人生プランを書いていて、もっと早く結婚すれば良かったなと思いました。金銭面を考えるともっと計画的にできたと思うし、体力面でも子どもを育てる事を考えると早く結婚すれば良かったです。。

パートナーの年齢的にも、2人以上子どもが欲しいと出産を急いでしまいます。結婚は早いほうがいいですね。

また、36歳から60歳までの具体的なイメージがつかないでした。50歳以上になると、現役引退が近づき生計をどう立てていくか不安になりました。

先輩パパの 実体験とアドバイス

----- 先輩パパ -----



Hさん



Sさん

— お子さんが産まれてから、働き方は変わりましたか？

Hさん：早く帰りたくなりましたね。ちょいちょい、気にかけて昼間も帰っていますね。今は、保育園入ったのですが、その前はお昼ご飯を食べに帰ったりしていました。

Sさん：見方が子ども中心になりました。飲食と建築業をやっているので、どんなお子さまメニューで子どもを喜ばせているのかな。とか、どういう部屋の作り方しているのか見て、子どもをどういう風に考えているのかな。とか。そういうの優先に目に入ってきますね。何でもそうですね。優先順位が変わりました。

Hさん：優先順位っていったら確かにそうですね。子どもがいなかったら他の子どもに目いかないし、自分に小さい子どもがいるから他の子どもを見るようになりましたね。

— Sさんは、早く帰れるようになりましたか？

Sさん：早く帰るようになりましたね。あまり残業しなくなったかも。19時くらいまでには帰っていますね。それまでは、限りなく仕事をやっていました。子どもが3人いて、かわいいから早く



『子どもがいるから、
気づけたことがある。』

帰りたくて、どんどん仕事する時間が短くなっていますね。笑

例えば、税金を払うのも子どもの為って思うし、子どもにいろんなきっかけを与えられるようにしたいし、子どもが身近な親や大人を尊敬できるような背中をみせられるようにしなくちゃいけないなって思っています。

そういう気持ちがどんどん大きくなっています。子どもが何でもテーマです。仕事頑張っているのも子どもがいるからだし。

— 「働く」「子育て」の上で、大切な事は何でしょうか？

Sさん：奥さんの大変さがわかって、

自分の親に感謝する気持ちが強くなりました。自分がこうやって育ったのも親あってだなと思うと母親や女の人はすごいなって思います。

Hさん：それはあるね。四六時中、子どもの面倒をみて女の人はすごいなって思いません。だから、自分が手助けできる事はやりたいなと思います。ただ、やり過ぎるのもどうなのかなって最近思えます。一人暮らしが長かったので、気になったら手出しちゃうんですが、やり過ぎたらダ



メなのかなって。

Sさん：俺は、何もしないから。

Hさん：羨ましいもん、そのスタンス。

Sさん：だから、とにかく感謝だね。疲れて帰ってきて子ども寝かしているのと、本当はやらなれないといけない事があっても寝てしまっ。後回しにしてしまっで困っていると、嫁がごそごそと夜中に起きてやってくれているんですよ。

一怒られたりしないんですか？

Sさん：怒らないですね。すごい疲れているんだなーってわ

かっているんでしょうね。結構、すごいですよね。出かけても、何も言わないし。なので、感謝する気持ちが強くなっていきました。

今まで 100% 苦労したら、そのパーセンテージを減らして 0% になったら良いなど。

一奥様との関係性は、お子さんが産まれてから変わりましたか？

Sさん：できる友達みたいかな。向こうからしたら、子どもと思っているかもしれないけど。笑

Hさん：子どもの話ばかりですね。子どもが産まれる前は、付き合っている時期が短かったので初々しい会話で

したが、子どもができたなら、子どもの話ばかりですね。

1歳3カ月の娘がいます！



6年生、2年生、1歳の娘
全員女の子！



一緒に子どもと過ごすのが大切なですよ。早く帰宅して子どもとの時間を作ることが大切なのかな。あと、男の子にとって男親は、ある意味ライバルとして存在しているような気がします。

若月 母親には、わからないことが小学生高学年くらいからどんどん出てきて。

吉野 相談しないんだけど、存在としているんだよね。

若月 ある程度大きくなると子ども自身が忙しくなるので、なかなか会話ができないんじゃないかな。

吉野 そうですね。もともとお父さんと会話する事自体が難しいんじゃないかな。自分もそうだったし。親と話すっていうのは難しいですよ。うちは、たまたま子どもの友達が家に来ていたので、その友達を介して話す感じだったから有難かったですね。

若月 うちもそうでした。友達がよく家に来ていたので、同じ部屋に私たち夫婦と子どもと子どもの友達と寝たりしていました。笑。ただ、そういうのは希ですよ。

吉野 希かもね。でも、そういうのを意識するのも大切かも。

若月 人が遊びに来るように？

吉野 そうだね。子どもの立ち位置が分かるんだよね。

若月 そうですね、俯瞰で見れますよね。

吉野 そうなんです。親は、意外と分からないじゃないかな。

お母さんは対等な位置ですが、お父さんは第三者に近いんですよ。

若月 そうですね。俯瞰して見ていますよ。でも、そのくらい距離があった方が良い気がします。あまりべったりより。お母さんとはべったりになっているから。

吉野 自分ができることは、色々な事をやって見せることと、子どもをちゃんと守ることかなって思っていました。そこだけキチツとしていけば良いかなと思います。子どもを育てていく時に何らかの「道しるべ」ではないけど、そういう風に子どもは見ているのではないかと思います。

若月 男性は、子どもが小さい時に出番がなくても大きくなった時に出番があるんですよ。日常的に関わっているお母さんが感じることで、非日常で俯瞰して見ているお父さんが感じることもあると思うんです。夫婦の子育てで、日常的に関わる人と非日常で関わる人がいることで、子どもってバランスがとれると思うんです。やっぱり、お母さんは、小さいことで注意してうるさい時もあったり、べったりしていたり。でも、人としての関わりをしていくのは、お父さんのかなと思います。

最初は、お父さんは子育てから外れているんだけど、どんどん近くなっていくと思うんですよ。日常的に関われないからといって悪いわけではないですよ。ただ、子どもの事をよく見ていて欲しいです。

企業の先輩



株式会社日立製作所
吉野 正則さん

株式会社日立製作所にて 36 年間勤めており、自身も 29 歳の娘と 27 歳の息子がいる。北海道大学客員教授を兼任。

『家庭の中で 男性の役割とは何か？』

企業の先輩 先輩ママの お話。

前回に引き続き、企業の先輩と先輩ママに「男性の人生と子育て」をテーマに対談していただきました。イクメンが流行している中、男性はどのような働き方、子育ての仕方を選択していくのでしょうか。様々な社会経験を積まれたお二人の意見とは？

ないですか。どういう子達と一緒にいるのか。

若月 そうですね。高校生になると余計に分からなくなりませぬ。

吉野 あと、一緒に行く所があるっていうのも大切かもしれないですね。日常的に公園など行く場所があるというのも良いですよ。どこかに行つたという思い出も大切だけど、日々行く所があるというのが大切ですよ。

— 時間の共有ですか？

若月 時間の共有のネタ？

吉野 そう。ネタ。昔野球やってたから野球を教えるとか、家庭菜園を家族でやるとかそういう事を決めるのも良いですよ。何かを一緒に育てるということを。お母さんは、そういうのは、教えるというよりは応援に行くとかじゃないですか。でも、つい自分は教えちゃうんですよ。

若月 やっぱ、親が得意なことは子どもも得意になつていくんですよ。1歳から絵を描く子のお母さんはよく絵を描いていたり、音が好きな子は、お母さんが楽器を弾いていたり。

吉野 そうだね。音楽の趣味も親の影響を受けますよね。小さい頃から流れているから、大きな影響を生みますね。親の音楽で育ちますよね。

若月 特にうちは、男親の影響かもしれませんね。日常じゃない趣味は特に。

吉野 うちもそうでした。男親をみていますよね。

— 女性からすると、お母さんになりたてで分からない事だらけなのに、何もやってくれなくて、目先の事が気になつてしまつたんですよ。

若月 そうですね。小さい時は、お母さんの時間を作ってあげられるように努力してあげれば良いのかな。お風呂も一人で入れなかつたりするのは辛いで、一人の時間を作ってあげる事が大切かもしれませんね。成長するにつれてだんだん出番が増えてきます。子どものことはもちろん、妻のこともずっと見守つて欲しいですね。

先輩ママ



北海道大学
若月 朱美さん

東京で30年間働き、仕事の関係で北海道へ移住。20歳の子どもと夫は、東京で暮らしている為、東京との往復の日々。

「日本で一番笑顔あふれる街へ」

女性や子育て世代にとって、
笑顔あふれる街とは、どんな街なのでしょう。

子どもの成長に不安がある。
相談する相手がいない。
子どもを預けられる場所がない。
子離れ後、働ける場所はあるか。

不安や悩みを口に出せばキリがありません。
多くの悩みを抱えながら子育てをしていると思います。

どうやって解決していけば良いのか、
一緒に考えていきましょう。

私たちにできることが必ずあるはずです。

そしてその先には「日本で一番笑顔あふれる街」があるはずです。

Free Talk のコナ

Vol. 10 の Talk

今回のテーマ「男性の生き方と子育て」でした。前号に引き続き夫婦で参加してくれた M さんの感想は？

編集長



松山 元樹

デザイン・構成



古田 千尋

前号登場



Mさん

Ⓒ 面白いテーマでしたね。意外と男性がちゃんと考えていましたね。

Ⓓ うん。考えている人が多いですね。

Ⓒ M さんの旦那さんの計画すごいですね！かなり具体的に書いていただきました。見ました？

Ⓓ なんて、こんなに細かく書けるんですかね？

Ⓒ 近くに年上がいて、話していたみたいです。大学時代から。

Ⓒ 将来について話す年上の方がいたんですね。

Ⓒ そうですね。居酒屋でバイトしていた頃に働きながら年配の方とそういう話をしてきたみたいです。

Ⓓ やっぱり、そういう下地がないと書けないんだよね。自分以外のことも書いているから偉いですよね。

Ⓒ 実家をどうするかは、話し合っていました。私が一人っ子なので、どうしようかと話をして、旦那には姉がいるので、旦那の実家はお姉さんをお願いしようかっていう話をしていました。

Ⓒ そこをちゃんと話し合っているから出てくるんですね。

Ⓓ 話し合っていると書けるってことですよね。

Ⓒ あれ？編集長はほとんど書けませんでしたね？

***P6~7のMさんは、編集長です。**

Ⓓ すみません。

Ⓒ 起業っていうのは何するんですか？

Ⓓ 決めてないです。。起業する頃に今のプロジェクトが終わるので、その後が空白になってしまい。。

Ⓒ 独立しかないなと？

Ⓓ そうです。

Ⓒ ここは明確でしたね。「岩見沢・十勝・東京に住みたい」っていうところ。

Ⓓ そうですね。住みたい場所は決まっているんですね。

Ⓒ 自然に触れたいんですね。

Ⓒ でも、たまに東京も行きたいんですね。

Ⓓ たまには！暇だから。。

Ⓒ 欲張りですね！笑 住む所は山を求めている？

Ⓓ そうですね。海より山を求めています。

Ⓒ ランドスケープみたいな？

Ⓓ そうそうそう。

Ⓒ 癒やされる？

Ⓓ そうですね。。

Ⓒ ぼーっとしたい？

Ⓓ 本当はね。

Ⓒ 色々と考え過ぎたんですかね？人生の休暇が必要ですね。笑

Ⓓ 必要ですね！笑 40歳にして休暇。笑

Ⓒ 不労収入を手に入れれば良いんですね？

Ⓓ そうですね！・・・退職かもしれないな。。

Ⓒ 退職じゃないですよね？意外と。

Ⓓ やったことあるんですか！？

Ⓒ ない！笑 でも、株とかなら瞬間的に売り買いをしないといけないから大変ですよね。

Ⓒ なかなか、神経質な人じゃないと大変そうですね。

Ⓒ そう。編集長はよく携帯見ているから大丈夫じゃないですか？

Ⓒ でも、やれって言われたら嫌がりそうじゃないですか？

Ⓓ ねえ。

Ⓒ 笑

